

2014 受託研究

1. 文部科学省 COI STREAM サテライト, 三邊義雄
脳の個性を生かし, 子どもの健やかなこころを育てる街の実現: 特異から得意へのパラダイムシフト(継続)
2. 文部科学省 脳科学研究プログラム, 東田陽博
神経内分泌仮説に基づく知能障害を有する自閉症スペクトラム障害の治験と自閉症医療総合特別区における診断と治療の展開研究(継続)

2014 文部科学省科学研究費

代表

1. 挑戦的萌芽研究, 菊知充
自閉症スペクトラム障害幼児における、知覚入力と「こころ」の形成過程の関係 (新規)
2. 若手研究B, 竹内慶至
自閉症スペクトラムの発現率増加過程に関する歴史社会学的研究 (新規)
3. 若手研究B, 吉村優子
乳幼児期および自閉症スペクトラム障害の社会性の発達に関連する脳機能の解明 (新規)
4. 基盤研究B, 菊知充
自閉症スペクトラム障害幼児における遺伝子多型、脳内ネットワークと表現型の関係 (新規)
5. 特別研究員奨励費, 吉村優子
乳幼児期の言語・社会性発達の生理学的指標—自閉症スペクトラムの早期発見に向けて (新規)
6. 基盤研究B, 棟居俊夫
オキシトシン療法による自閉症スペクトラム障害者の自己観の変化に関する脳科学的研究 (継続)
7. 若手研究B, 三浦優生
自閉症スペクトラム児の社会性発達に影響を及ぼす文化的要因の検証 (継続)
8. 若手研究B, 平石博敏
脳磁計を用いた自閉症スペクトラム障害におけるモラル判断時の脳活動の解明 (継続)

9. 挑戦的萌芽研究, 棟居俊夫
自閉症スペクトラム障害と双極性障害の類似症状に着目した脳科学的研究 (継続)
10. 基盤研究C, 横山茂
神経損傷誘導性蛋白Gpnmbがイオンチャンネル活動調節・痛み情報伝達に果たす役割 (継続)
11. 挑戦的萌芽研究, 荒木友希子
聴覚障害児が日本語を学習するためのiPadアプリケーション教材の開発 (継続)
12. 特別研究員奨励費, 辻知陽
社会認識関連神経ペプチド-オキシトシンの脳内分泌機構の解析 (継続)
13. 基盤研究C, 高橋哲也
自閉症障害の神経ネットワーク異常に関する研究: 非線形解析による脳形態生理学的検討 (継続)
14. 挑戦的萌芽研究, 小島治幸
「青色効果」の検証: 青色環境は認知, 心理, 行動にどのような影響を与えるのか? (新規)
15. 挑戦的萌芽研究, 大井学
高機能自閉症スペクトラム障害児への支援: 会話分析から単一事例実験デザインへ (新規)
16. 基盤研究C, 堀修
ATF6ノックアウトマウスを用いたALSの病態解明 (新規)
17. 基盤研究B, 三邊義雄
高機能自閉症成人例におけるオキシトシンの効果と生物学的背景の検討 (継続)
18. 挑戦的萌芽研究, 三邊義雄
神経細胞死におけるHsp70とその関連蛋白の意義 (継続)
19. 挑戦的萌芽研究, 橋本隆紀
統合失調症の脳皮質抑制性介在ニューロン変化におけるGABA受容体遺伝子の役割 (新規)
20. 基盤研究B, 橋本隆紀
統合失調症の病態におけるKv9.3カリウムチャンネルサブユニットの重要性について(継続)

21. 新学術領域研究(研究領域提案型), 橋本隆紀
統合失調症におけるKv9. 3カリウムチャンネルサブユニット発現変化の脳内分布(継続)
22. 新学術領域研究(研究領域提案型), 戸田重誠
目的指向性行動から習慣への安定的移行を制御する側坐核可塑性の役割(新規)
23. 基盤研究C, 戸田重誠
酸化ストレスが精神疾患病態生理に果たす機能的重要性の解明; うつ病の敵か、味方か?(継続)
24. 挑戦的萌芽研究, 戸田重誠
病態マーカーとしてのin situグルタチオン化タンパク質検出法の確立と応用(継続)

分担

1. 基盤研究B(代表 東條吉邦), 三浦優生
自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討(継続)
2. 特別推進研究(代表 浅田稔), 菊知充
神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る過程の理解と構築による構成的発達科学(継続)
3. 基盤研究B(代表 三邊義雄), 棟居俊夫, 菊知充
高機能自閉症成人例におけるオキシトシンの効果と生物学的背景の検討(継続)
4. 基盤研究C(代表 吉川弘明), 横山茂
神経型アセチルコリン受容体を標的とした自己免疫性神経疾患(継続)
5. 挑戦的萌芽研究(代表 棟居俊夫), 菊知充, 吉村優子
自閉症スペクトラム障害と双極性障害の類似症状に着目した脳科学的研究(継続)
6. 基盤研究B(代表 棟居俊夫), 横山茂, 三浦優生
オキシトシン療法による自閉症スペクトラム障害者の自己観の変化に関する脳科学的研究(新規)
7. 挑戦的萌芽研究(代表 松崎秀夫), 吉原亨
発達障害発症基盤としての胎生期脂質代謝異常の研究(新規)
8. 基盤研究B(代表 菊知充), 横山茂, 吉村優子
自閉症スペクトラム障害幼児における遺伝子多型、脳内ネットワークと表現型の関係(新規)
9. 基盤研究C(代表 大星有美), 菊知充
脳賦活リハビリテーションに貢献する光イメージングを用いた認知機能定量法の開発(新規)

10. 基盤研究C(代表 中山晃), 三浦優生
特別支援学級での外国語活動:その質的および客観的評価法に関する基礎的研究(新規)
11. 基盤研究C(代表 北尾康子), 堀修
ATF6及びATF4による虚血性神経細胞死の阻止(継続)

2014 その他

1. 公益財団法人住友生命健康財団「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」, 竹内慶至
自閉症スペクトラムのある児童のためのスポーツワークショップの開発とスポーツワークショップを通じたコミュニティ形成のためのプログラム開発(継続)
2. 公益財団法人アステラス病態代謝研究会, 菊知充
広汎性発達障害の早期診断のための診断システム開発(継続)
3. 金沢大学附属病院 基盤研究経費 臨床研究助成金, 棟居俊夫
新規オキシトシン製剤の開発(新規)
4. 金沢大学 戦略的研究推進プログラム(拠点形成型) 重点研究プログラム, 東田陽博
発達・学習・記憶と障害の革新脳科学の創成:文理架橋総合研究の全学的取り組みと挑戦の第二ステージ(継続)
5. エフピー株式会社との共同研究, 東田陽博
CD157欠損マウスの精神症状に対するセレギリン塩酸塩の効果に関する研究(新規)
6. 金沢大学COC事業「地(知)の拠点整備事業」地域の感性を備えた人材を育て社会を繋ぐ「地(知)」の拠点, 竹内慶至
(新規)